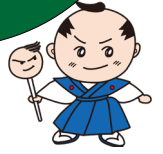


ある町の天気相談所

Vol.82 2024.10.04

令和6年10月号



高い海面水温

今年の夏の期間、日本付近の海面水温は、
 平年より高くなりました。昨年から高い状態が続いており、高い気温や、大雨の原因
 になっているとも言われています。

画像は、令和6年9月2日気象庁発表の
 「令和6年7月以降の顕著な高温と7月下旬の北日本の大雨の特徴と要因について」
 の資料から図を抜粋

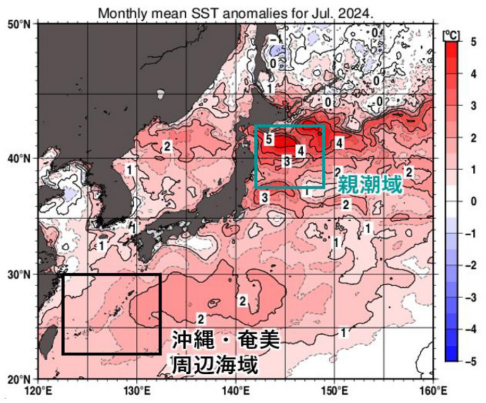


図 1-7 2024年7月の日本近海の海面水温平年差

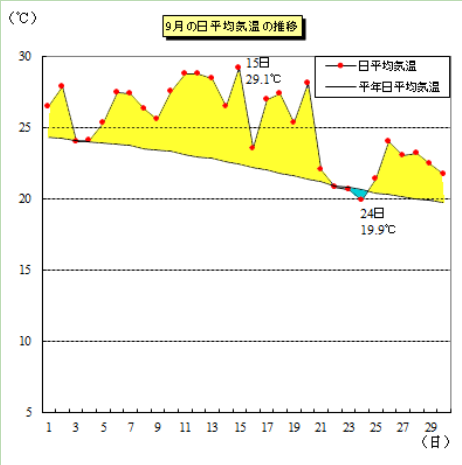
9月の気候

9月は、中旬にかけて日本海から東北地方に前線が停滞し、大気が不安定となりましたが、下旬になると前線は本州の南岸から南へ移動しました。雷が多くなり、毎日のように雨を観測しましたが、月合計降水量は45ミリと9月として3番目に少ない記録となりました。月平均気温は25・1度とかなり高く、9月として高い方からの記録2位となりました。月合計日照時間は、146・3時間と平年より多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

天気は数日の周期で変わりますが、前半は低気圧や前線の影響を受けやすく、平均気温は「高い」、降水量は「平年並みか多い」、日照時間は、「平年並みか少ない」となる見込みです。



9月にかけての高温の記録

猛暑日
 最高気温が35度以上の猛暑日の日数は、4日と、昨年や平年の日数である1日より多くなりました。

真夏日

最高気温が30度以上の真夏日の日数は、56日と平年の26・5日を大きく上回り、昨年の59日よりは少なくなりましたが、2番目に多く、3番目が47日ですので、去年と今年が特に多いことがわかります。

最低気温25度以上の日数

最低気温が25度を下回らない日の日数は、34日でした。平年の4・5日を大幅に上回り、昨年の35日に次いで、2番目の多さになっています。3番目の記録は15日ですので、こちらも今年と去年が特に多いことがわかります。

夏の期間(6月から8月)の最低気温の平均は22・6度と過去最も高く、平均気温と最高気温の平均は、昨年と同じで1位のタイ記録となりました。

原因はよくわかりませんが、高い海面水温が影響している可能性があります。日立市役所の観測所は、海からの空気が入りやすいため、平年では最高気温の上昇が抑えられ、最低気温は、25度を下回る日が多くなります。今年は海面水温が高いため、それらの効果が少なかった可能性があります。(記録は9月までの市役所観測所)



天気用語の基礎知識

海面水温の求め方

海面水温は、船(世界中の気象機関や大学などの研究機関、気象、海洋観測を行っている一般の貨物船やフェリー)による観測、漂流しない定置ブイや漂流するブイ、静止気象衛星や極軌道衛星など人工衛星からのマイクロ波や赤外線を用いた観測により得られた情報を解析して求めている。船やブイなどでは、直接水温を測定できるため精度が高いが、位置の偏りなどがある。一方人工衛星からの観測は精度は劣るが、広い範囲を短い時間間隔で測定できるため、これらを組み合わせている。

・・・神峰の山から・・・

日々の天気予報を行うために、天気相談所では2つの数値予報を利用しています。通常は似ているのですが、日立市付近で見ると大きく異なる時があります。この場合はどちらかを選ぶまたは、中間の値をとったりするのですが、いつも難しく思っています。基本的にはその日までの天気の経過に近いほうを選ぶのですが、その後もそのようになるとは限らず、予報資料が新しくなる度が変わってしまうことがあります。9月下旬はまさにそのようなことがありました。

先月お伝えしたツバメは、10日ほどでこなくなりました。